



今日から始める  
自然観察

# 竹林やささ原を 観てみよう



かめやま こうじ  
亀山 浩二  
茨城県石岡市立  
石岡小学校教頭  
(元ミュージアムパーク茨城県  
自然博物館主任学芸主事)

七夕の時期は、よくタケやササを目にしますね。日本人はタケやササを七夕飾りを始め、食料や垣根、ざるや包装材、家具、楽器など、たくさんのものに利用してきました。日本人にとって身近な竹林やささ原には、どんな生きものが暮らしているのでしょうか？



写真：  
今井初太郎

## サトキマダラヒカゲ

タテハチョウ科。翅を開くと25～40mm。幼虫はタケやササの葉を好んで食べる。初夏から秋にかけ、竹やぶやササ類が生えた林を飛び回る成虫が見られる。蛹で越冬する。

## クマガイソウ

ラン科。扇状の2枚の大きな葉を付け、紅紫色の脈のある淡黄色の大きな袋状の花を4～5月ごろに咲かせる。茎は高さ20～40cm。整備された明るい竹林やスギ林で見られることが多い。



写真：小幡和男



写真：  
今井初太郎

## ゴイシジミ

シジミチョウ科。翅を開くと25～30mm。幼虫はタケやササに付くアブラムシを食べる。成虫はアブラムシの出す分泌物を吸い、初夏から秋に見られる。

## ササを食べる ヤクシカ



写真：小松崎 茂

## ヤツシロランの仲間

ラン科。腐生植物で葉緑素を持たない。竹の根元近くや落ち葉が積もったところでよく見られる。写真はクロヤツシロラン。

## 竹林やささ原で暮らす生きもの

竹林やささ原をじっくり観察すると、タケやササとかかわりの深い生きものを見つけることができます。

タケやササの葉をよく見てみると、タケやササに付くアブラムシの分泌物を吸うゴイシジミというチョウに出会えるかもしれません。もしくは、タケやササの葉を食草とするサトキマダラヒカゲやタケカレハなどのチョウやガの幼虫が観察できるかもしれません。ベニカミキリは、弱ったタケや伐採されたタケの稈に卵を産み付け、幼虫は稈の中で暮らしています。枯れた竹を割ってみると、幼虫や成虫が出てくることがあります。

竹林の地面には、ラン科植物のクマガイソウやヤツシロランの仲間が生えていることがあります。竹林を好むキノコといえば、キヌガサタケ。オオイチョウタケや、超大型のニオウシメジも竹林やその近くに発生している例が多くあります。

少し標高の高い山の方では、ササ類をよく食べるシカの痕跡を発見できるかもしれません。シカの仲間

## タケとササの違い

タケノコが成長するとタケノコの皮はがれ落ちるものが「タケ」、タケノコが成長してもタケノコの皮がすぐにはがれ落ちないものが「ササ」。

タケやササは、一般に地下でタケノコを発生させる地下茎が横に長く伸びるが、地下茎が横にほとんど伸びず株立ち状になる「熱帯・亜熱帯性のタケ(バンブー)」もある。



節についたタケノコの皮が、成長するとはがれる

**タケ**  
モウソウチク



節にタケノコの皮がついたまま

**ササ**  
メダケ

## 探してみようタケ・ササの花



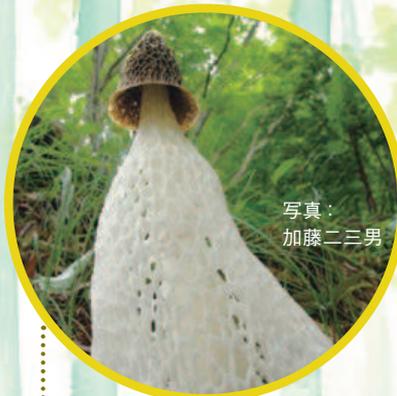
アズマネザサの花

タケの花は一般に60年に1回とか120年に1回とかの周期で咲くという説がありますが、実際はタケの花もササの花もいつ咲くか分からないという神秘的な謎に包まれています。そして、花が咲くとタケやササの地上部は枯れてしまいます。タケよりもササの方が花が咲きやすいようですが、いずれにしてもタケ・ササの花はとても珍しいものと言えます。



### てんぐ巢病

タケの開花と間違えられることがあるが、カビの一種によって起こる病気。無数の小枝が出て、ほうきのようなになる。風通しの悪い荒れた竹林に多い。



写真：加藤二三男

### キノガサタケ

スッポンタケ科。梅雨から秋にかけて竹林に発生するキノコ。傘の内側から繊細な白い網目状のマントを広げる。粘液状のオリーブ色をした頭部からは悪臭を放ち、多くの昆虫を引きつけ、胞子を運んでもらう。



写真：小櫃優紀子  
小櫃花奈子

### ベニカミキリ

カミキリムシ科。体長12~17mmで紅色の美しい昆虫。幼虫は枯れたモウソウチクやマダケなどの稈を食べる。春~初夏に成虫が外に出てくる。



### ニホンタヌキとタケノコ



写真：大和田健二

### ニオウシメジ

キシメジ科。超大型のキノコで、夏から秋に発生し、時には1株で100kgを超えるほどの大きさのものもある。地中に竹材を埋めた場所や竹林の近くに発生した例が多く報告されている。



## QUIZ

### タケの黄葉はいつ?

ある時期になると、黄色に染まったタケの葉がはらはらと落ち、新しい若葉に入れ替わります。このとき、竹林を遠目に見ると全体が淡く黄色みがかかった姿を観察できます。さて、黄葉する季節はいつごろでしょうか?

▶ 答えは35ページ

は……? ?

固定カメラに写ったニホンタヌキ、イノシシがタケノコを食べるために掘った穴、ささ原につくられた野鳥の巣など興味深い報告もあります。皆さんも身近な竹林やささ原をぜひ観察してみてください。

全国的に分布範囲や個体数を増やしており、地域によってはササ群落が食べ尽くされ消滅したところもあります。また、クマはササのタケノコが大好きです。不意の出会いに注意しましょう。

そのほかにも、植物や野鳥、小動物が生活環境の一部として竹林やささ原を利用しています。竹林内の